

## 科学者委員会広報分科会（第22期第3回）議事要旨

1. 日 時 平成24年4月9日（月）17:00～18:30
2. 場 所 日本学術会議 2階特別室
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、山川充夫委員、吉川泰弘委員、萩原一郎委員、渡辺美代子委員  
日本学術会議事務局企画課：高橋、石黒、西田  
日本学術協力財団：南、末次

### 【配布資料】

- 資料1 第3回科学者委員会広報分科会出席者一覧
- 資料2 第2回科学者委員会広報分科会議事要旨
- 資料3 平成24年4月以降の掲載記事一覧
- 資料4 現在寄せられている「学術の動向」特集記事等の企画案等

参考1 日本学術会議関連イベントスケジュール

### 4. 議 事

#### (1) 日本学術会議の広報活動について

- ・22期パンフレットについて、完成の報告を行った。
- ・次回のパンフレット作成時には意見の反映が十分できるようにスケジュールに配慮するようにと要望が出た。
- ・ホームページの改修についての現状を報告した。
- ・リーフレットの作成について、今年度改めて会計担当と相談することとする。

#### (2) 『学術の動向』への編集協力について

<特集>

(5月号)

- ・特集1：原発災害をめぐる科学者の社会的責任—科学と科学を超えるもの
- ・特集2：安全・安心な社会のための食料・健康・環境植物工場によるライフ & グリーンイノベーション

(6月号)

- ・特集1：科学データの長期保存とグローバルな共有  
—ICUS（国際科学会議）世界データシステムの構築
- ・特集2：学術からの提言—今、復興の力強い歩み—

(7月号)

- ・特集1：東日本大震災からの復興と科学技術
- ・特集2：生命科学から見た健康長寿への道

(8月号)

- ・特集1：東日本大震災を教訓とした巨大災害軽減と持続的社会的実現への道
- ・特集2：ジャパンプライズ

(9月号)

- ・特集1：若手研究者たちと考える、君たちの、そして日本の未来  
－大学で何を学び、何をかなえたい？－
- ・特集2：科学を文化に－科学・技術でわかること、わからないこと－

<表紙>

- ・5月号から8月号までについて決定した。

<編集後記担当>

- 7月号から11月号までの担当委員について決定した。

(3) その他

- ・執筆者に表紙案の検討を依頼するに当たり、『学術の動向』に相応しいものについて、一定の基準を設ける必要があるとの意見があった。
- ・学術の動向への寄稿が少ないため、任期中に一度は執筆するよう、広報分科会委員から呼びかけを行うこととした。
- ・大学の9月入学に対する反対意見が送付されており、賛否両論について掲載するのはどうかと提案があった。
- ・次回の広報分科会は、7月9日(月)10:30~12:00又は7月10日(火)15:30~17:00のいずれかに開催することで調整を行うこととした。

(以上)